

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
中間配当を行う場合の基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
郵便物送付先 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行(株)の本店及び 全国各支店で行っております。
住所変更等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設 されました株主様は、特別口座の口座管理機関である 三井住友信託銀行(株)にお申出ください。
未払配当金の 支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)に お申出ください。
公告方法	電子公告により行います。ただし事故その他やむを得ない 事由によって電子公告による公告を行うことができない 場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載 サイトアドレス	<a href="https://www.garage.co.jp/ja/ir/public_notice/">https://www.garage.co.jp/ja/ir/public_notice/</a>
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
銘柄コード	4819



株式会社デジタルガレージ

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南三丁目5番7号

【お問い合わせ先】 ☎ 03-6367-1111

【当社Webサイト】 <https://www.garage.co.jp/ja/>

## Webサイトのご案内

当社WebサイトではIR情報のほか、デジタルガレージグループに  
関する情報をリアルタイムで紹介しております。ぜひご覧ください。



当社Webサイト <https://www.garage.co.jp/ja/>



当社Webサイト IRページ <https://www.garage.co.jp/ja/ir/>

## Webメディア「DG Lab Haus」

DG Labの注力分野において、世界中のオープ  
ンイノベーションの現場で生まれるニュースや  
業界のリーダー達が語る未来を発信。



DG Lab Haus Webサイト <https://media.dglab.com/>

# Business Report

第25期 2020年3月期 第2四半期



# OPEN INCUBATION TOWARD 2020

第25期 2020年3月期 第2四半期



Digital Garage Group



# 2020年3月期 第2四半期 決算サマリー [IFRS]

リカーリング型事業の拡大が継続、  
第2四半期累計期間の当期包括利益は、前年同期比13%増の70億円

Continued expansion of revenue in recurring business  
FY20.3 1Q-2Q Comprehensive income: 7.0 B JPY, up 13% YoY

2020年3月期第2四半期累計期間の収益は、19,596百万円(前年同期比7.5%増)、税引前利益7,326百万円(同1.0%減)となりました。為替相場の変動による影響が減益要因となりましたが、フィナンシャルテクノロジー(FT)事業、マーケティングテクノロジー(MT)事業の市場を上回る成長や、インキュベーションテクノロジー(IT)事業の公正価値評価益の拡大が寄与し、税引前利益は第1四半期の2,218百万円から第2四半期の5,108百万円に拡大しております。

デジタルガレージは、2020年に設立25周年を迎えます。世の中の役に立つ「コンテキスト」を創る会社として、リカーリング事業(FT/MTセグメント)とロングタームインキュベーション(LTI)事業(カカコムグループ)の安定成長を基盤とし、精力的にDG Lab、(株)Crypto Garageによる次世代技術領域に対する研究・事業開発を進めていきます。

Revenues for the six months ended September 30, 2020 amounted to 19,596 million JPY (up 7.5% YoY) and profit before tax amounted to 7,326 million JPY (down 1.0% YoY). The effect of exchange rate fluctuations was a factor behind the decline in profit. However, profit before tax increased from 2,218 million JPY in the first quarter to 5,108 million JPY in the second quarter, thanks to growth that exceeded the markets in the Financial Technology (FT) and Marketing Technology (MT) businesses and an increase in the gain on valuation of the Incubation Technology (IT) business.

Digital Garage will celebrate its 25th anniversary in 2020. As a company that creates contexts that change and make the world better, we vigorously pursue R&D and business development through DG Lab and Crypto Garage in next-generation technological domains, based on stable growth in the recurring business (FT & MT segment) and Long-term Incubation (LTI) business (Kakaku.com group).



**林 郁**  
Kaoru Hayashi  
代表取締役 兼  
社長執行役員グループCEO  
Representative Director,  
President, Executive Officer  
and Group CEO

収益は前年同期比8%増の196億円、税引前利益は同1%減の73億円、  
当期包括利益は同13%増の70億円  
～リカーリング型事業の収益は同16%増、営業投資有価証券に関する収益は同14%減～

Revenue increased by 8% YoY to 19.6 B JPY, profit before tax decreased by 1% YoY to 7.3 B JPY,  
and comprehensive income increased by 13% to 7.0 B JPY

Revenue in recurring business grew by 16% YoY, revenue in operational investment securities decreased by 14%

2020年3月期第2四半期累計期間は、収益19,596百万円(前年同期比1,371百万円増、同7.5%増)、税引前利益7,326百万円(前年同期比74百万円減、同1.0%減)、当期包括利益7,028百万円(前年同期比813百万円増、同13.1%増)となりました。

FTセグメント/MTセグメント/LTIセグメントでは二桁の増収増益となりました。リカーリング事業であるFT/MTセグメントでは高い成長を維持、LTIセグメントでは持分法適用会社である(株)カカコムの

業績が貢献しました。

ITセグメントでは、保有する投資有価証券の公正価値が海外現地通貨ベースで大きく伸長したものの、為替相場が円高で推移したことにより、為替相場変動による影響が前年同期比14億円の減収減益要因となっております。国内外の新規投資も着実に進捗し、グローバルインキュベーションストリームを軸に、バランスの取れた投資ポートフォリオを構築しております。

(単位:百万円 / JPY in Millions)	2019.3期 FY19.3			2020.3期 FY20.3			前年同期比 YoY		
	1Q	2Q	2Q(累計)	1Q	2Q	2Q(累計)	(%)	(金額)	
収益	Revenue	8,548	9,677	18,225	8,217	11,379	19,596	+7.5	+1,371
リカーリング型事業から生じる収益	Revenue in recurring business	5,323	5,722	11,045	6,138	6,718	12,856	+16.4	+1,810
営業投資有価証券に関する収益	Revenue in operational investment securities	1,732	2,677	4,409	459	3,332	3,790	-14.0	-618
その他の収益	Other income	664	206	870	817	422	1,239	+42.3	+368
金融収益	Finance income	104	125	229	1	16	17	-92.4	-212
持分法による投資利益	Share of profit of investments accounted for using equity method	725	946	1,672	803	891	1,694	+1.4	+23
費用	Expenses	5,154	5,671	10,825	5,999	6,271	12,270	+13.4	+1,445
売上原価	Cost of sales	2,463	2,629	5,092	2,740	2,976	5,716	+12.2	+624
販売費及び一般管理費	Selling, general and administrative expenses	2,582	2,914	5,497	2,951	3,138	6,089	+10.8	+592
その他の費用	Other expenses	72	76	149	78	86	164	+10.4	+15
金融費用	Finance costs	37	51	87	230	71	301	3.4 倍	+214
税引前利益	Profit before tax	3,394	4,006	7,400	2,218	5,108	7,326	-1.0	-74
親会社の所有者に帰属する当期利益	Profit attributable to owners of parent	3,113	2,612	5,725	1,624	3,647	5,271	-7.9	-454
当期利益	Profit	3,135	2,640	5,775	1,617	3,623	5,240	-9.3	-535
その他の包括利益	Other comprehensive income	549	-109	439	2,972	-1,184	1,787	4.1 倍	+1,348
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の変動	Net change in fair value of equity instruments designated as measured at fair value through other comprehensive income	376	-265	110	3,107	-1,186	1,921	17.4 倍	+1,810
当期包括利益	Comprehensive income	3,684	2,530	6,215	4,589	2,439	7,028	+13.1	+813

\*上記収益、費用、税引前利益は、非継続事業を除いた継続事業を表示

収益は前年同期比20%増、税引前利益は同27%増の21.7億円、過去最高のセグメント利益を記録

Revenue rose 20% YoY, profit before tax marked 2.17 B JPY, +27% YoY, record-high earnings

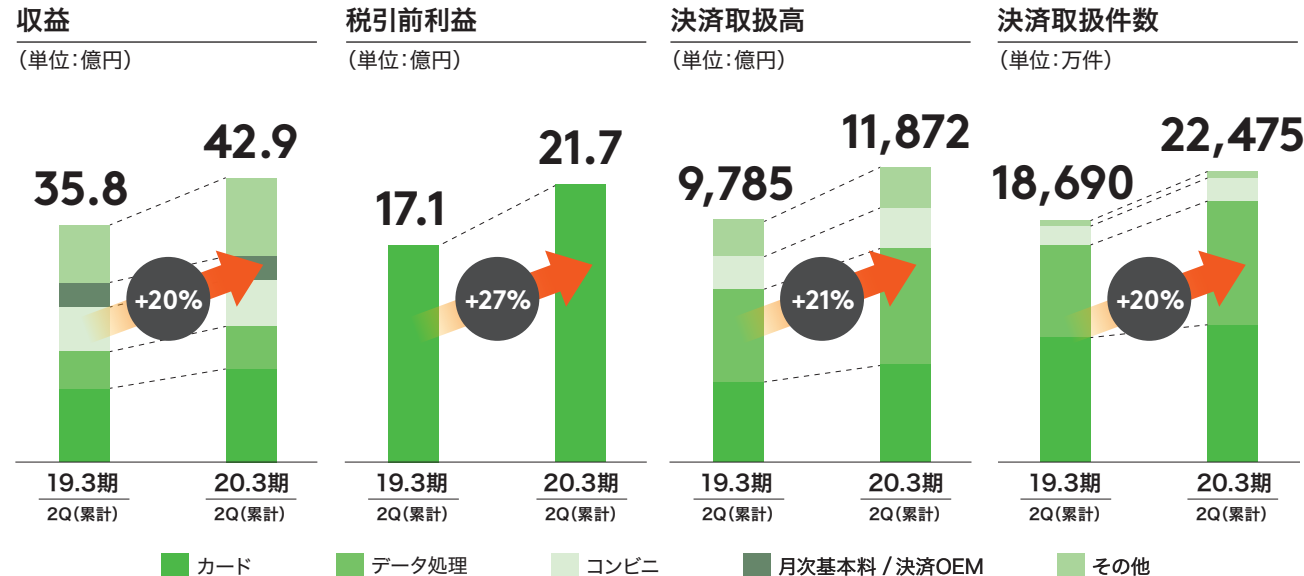
決済取扱高は前年同期比21%増の1.2兆円、決済取扱件数は同20%増の2.2億件を突破  
Transaction volume marked 1.2 T JPY, +21% YoY, and number of transaction surpassed 220 M, +20% YoY

FTセグメントでは、Eコマース(EC)をはじめとするBtoCの商取引に必要な不可欠なクレジットカード決済やコンビニ決済等の電子決済ソリューションを提供しております。

当第2四半期累計期間においては、収益は4,287百万円(前年同期比19.9%増)、税引前利益は2,173百万円(前年同期比27.5%増)となりました。決済事業を展開するペリトランス(株)及び(株)イーコンテクトが、多様な決済ソリューションを提供しEC市場で高成長を継続

していることに加え、訪日外国人のインバウンド消費に対応した対面決済が好調であることや、引き続き既存加盟店の取り扱いが堅調に推移したこと等により、決済取扱高は前年同期比21%増の約1.2兆円、決済取扱件数は同20%増の2.2億件まで伸長致しました。

大規模な顧客基盤を有する事業パートナーとの決済連携を推進し、今後もFinTech業界のプラットフォーマーとして、新たな成長領域を開拓してまいります。



収益は前年同期比14%増の73.6億円、税引前利益は同50%増の10.0億円

Revenue marked 7.36 B JPY, +14% YoY, and profit before tax increased to 1.0 B JPY, +50% YoY

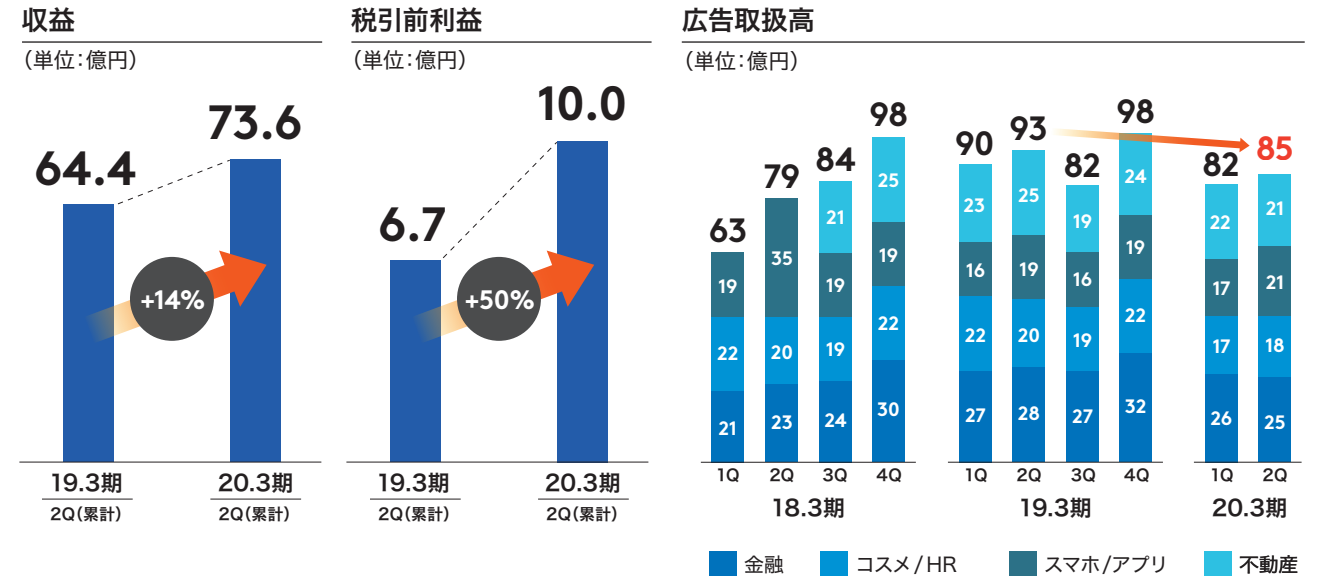
収益性の高い案件の選択と集中で高利益率確保を目指す  
Aiming to secure high profitability through selection and concentration of highly profitable cases

MTセグメントでは、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告等のウェブマーケティングやビッグデータを活用したデータマネジメントビジネスを行っております。

当第2四半期累計期間においては、収益は7,360百万円(前年同期比14.2%増)、税引前利益は1,004百万円(前年同期比50.2%増)となりました。主にインターネット広告を手掛ける当社マーケティングテクノロジーカンパニーにおいて、FTセグメントと連動した決済

アプリ開発事業・モール事業が引き続き好調に推移しました。また、コストコントロール等の収益性向上を企図した戦略も継続しております。さらに、持分法適用会社である(株)サイバー・バズのインフルエンサーマーケティング事業の成長も寄与しました。

今後もセグメントを横断した事業開発を継続し、当社グループの強みを生かした新たな収益の柱を構築してまいります。





## インキュベーションテクノロジー・セグメント

INCUBATION TECHNOLOGY SEGMENT

### 持分価値である営業投資有価証券残高は、前期末比24%増の331億円

The balance of operational investment securities was 33.1 B JPY, up 24% from the end of FY19.3

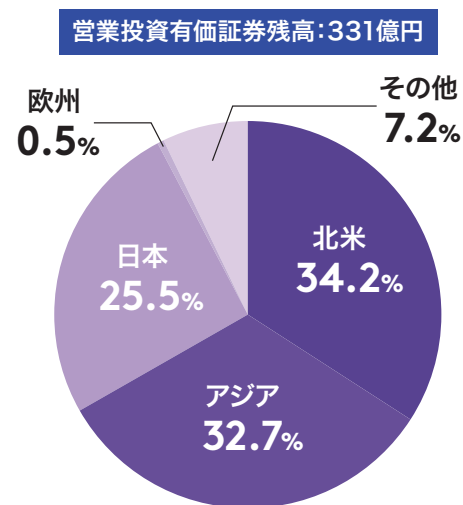
成長著しいアジア圏を中心に公正価値評価額が伸長  
Increase in fair value mainly in the rapidly growing Asian region

ITセグメントでは、国内外のスタートアップ企業等への投資及び当社グループ内の事業との連携による投資先の育成等を行っております。当第2四半期累計期間は、ドル建てによる投資残高が3分の2を占めるという当社の特徴から、公正価値評価において、円高ドル安による影響を受けたものの、成長著しいアジア圏の投資先を中心に公正価値評価額が伸長したこと等から、当社の持分価値を示す営業投資有価証券の残高は前期末比23.9%増の331億円となりました。

次世代技術を有するスタートアップ企業への投資を目的として2016年に(株)大和証券グループ本社と合併で設立した(株)DG Daiwa Venturesでは、今期「DG Lab2号ファンド」を組成し、100億円を超える第1次募集を完了しました。DG Labが研究開発を推進するブロックチェーン、AI、VR/AR、セキュリティ、バイオヘルスの5つの重点分野を投資対象領域として、国内外の有力なスタートアップ企業への投資インキュベーションを加速してまいります。



#### エリア別ポートフォリオ(期末簿価ベース)



#### 【投資先の一例】

<p><b>QD LASER</b> 量子ドットレーザー技術の事業化を目指す先駆者として、通信・産業・医療・民生用分野で新しい半導体レーザーソリューションを開発・提供</p> <p>QDLレーザー [日本]</p>	<p><b>GrubMarket</b> 新鮮なオーガニックフードに特化したリーディングマーケットプレイスプラットフォームを展開</p> <p>GrubMarket [米国]</p>
<p><b>NOIN</b> 化粧品メーカーが直接出店するコスメECプラットフォーム「NOIN」、インスタグラム内のコスメ動画アカウント「noin.tv」を運営</p> <p>ノイン [日本]</p>	<p><b>Lime</b> ラストマイルソリューションにフォーカスした電動スクーターのライドシェアリングサービスを運営</p> <p>Neutron Holdings [米国]</p>
<p><b>NOBROKER</b> 物件検索から契約まで一連の手続きを全てオンラインで可能とするCtoC不動産マーケットプレイスを運営</p> <p>NoBroker Technologies Solutions [インド]</p>	<p><b>THREDUP</b> 婦人服・子供服に特化した中古衣料品をオンライン上で代行販売する米国最大のアパレルリサイクルプラットフォームを運営</p> <p>ThredUp [米国]</p>
<p><b>Healthians</b> 診療所での検査予約や、医師/専門家からの関連情報の提供等を行う医療関連webサービス「Healthians.com」を運営</p> <p>Expedient Healthcare Marketing [インド]</p>	<p><b>droom</b> インド最大手の自動車売買オンラインマーケットプレイス「Droom」を運営</p> <p>Droom [インド]</p>

## ロングタームインキュベーション・セグメント

LONG-TERM INCUBATION SEGMENT

### 税引前利益は前年同期比29%増の24.3億円。カカコムの持分法投資利益が順調

Profit before tax marked 2.43 B JPY, +29% YoY. Investment profit on equity method of Kakaku.com, Inc. remains robust

価格.com、食べログ、新興メディアが順調に推移  
"Kakaku.com", "Tabelog" and "New Media" going well

LTIセグメントでは、当社グループがこれまで培ってきた投資育成や事業開発のノウハウを活かし、中長期的かつ継続的な事業利益の創出に取り組んでおります。当第2四半期累計期間においては、収益は3,928百万円(前年同期比21.0%増)、税引前利益は2,426百万円(前年同期比29.4%増)となりました。持分法適用会社である(株)カカコムにおいて、主力の

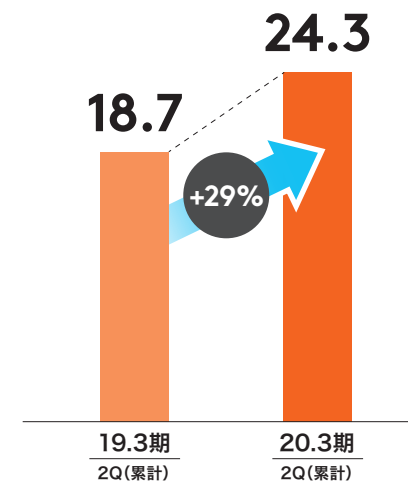
「価格.com」に加え、「食べログ」や新興メディアが引き続き順調に推移し、当社業績に貢献しております。

2019年1月に金融分野で初となる規制のサンドボックス認定を受けた(株)Crypto Garageでは、現在も順調に実証実験を重ねております。当社グループにおける次世代の成長分野と位置付け、来期以降の商用化を目指して注力してまいります。



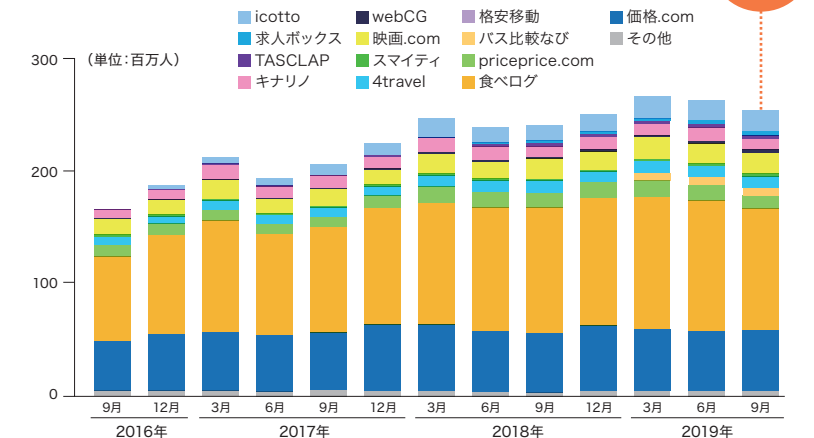
#### 税引前利益

(単位: 億円)



#### カカコムグループ積上トラフィック


グループ全体の月間利用者数は年々増加し、2億5754万人と前年同期比+5.0%(2019年9月)



\* (株)カカコム 2020年3月期 第2四半期決算説明資料より抜粋

**読み取り支払い型のマルチQRコード決済ソリューション「クラウドペイ」を提供開始**  
 ~訪日外国人に向けたQRコード決済サービスを拡充~  
**Launches "Cloud Pay", a merchant-presented mode multi-QR Code payment solution**  
 Expansion of QR Code payment service for foreigners visiting Japan

**【店頭設置用】QRコードスタンドのイメージ**



「クラウドペイ」は、1つのQRコードを店頭を設置するだけで、d払い、メルペイ、LINE Pay等のQR・バーコード決済サービスを導入することができるサービスで、2019年5月より提供を開始しております。

更には、中国のアント フィナンシャル サービスグループが提供するAlipayに加え、2019年12月1日より香港のAlipay Financial Services (HK) Limitedが提供するAlipayHK、及び韓国のKakao Corp.が提供するKakaopayに対応し、中国本土、香港、韓国を対象とした地域の訪日外国人に向けたQRコード決済サービスを拡充してまいります。

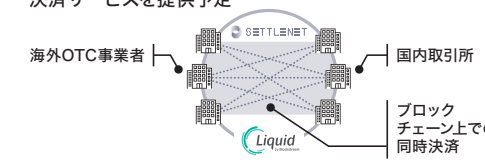
\*2019年10月24日の当社リリースに基づくもの

**規制サンドボックス制度の下、国内取引所が参加する実証実験を継続**  
 ~ 20年上期の商用SETTLENETのグローバル展開と、P2P derivativesの更なる研究開発を推進 ~  
**Under the regulatory sandbox, continue POC in which domestic exchanges participate**  
 Promoting globalization of commercial SETTLENET in the first half of 2020 and further promote P2P derivatives R&D

商用化

SETTLENET

- ◆ 規制サンドボックスの下、ブロックチェーン上での実資産を用いたP2Pの同時交換取引を実施中  
→日本の有力仮想通貨交換事業者4社をつなぐ実証実験
- ◆ 20年上期に商用版のグローバル展開を予定  
国内取引所と世界各国のOTC事業者\*間の決済サービスを提供予定



\*Over The Counterの略。取引所外で大口の取引を専門に行う事業者

研究開発

P2P derivatives

- ◆ 英国Skew社とStandard & Poor's 500 Indexに連動した、Bitcoin建てのP2Pスマートコントラクト取引を締結・実施し、技術検証を完了
- ◆ 取引当事者間の信用リスクを解消すると共に、契約コストを低減することで、暗号資産の価格変動リスクを避け、より多くの事業者が取引に参画する健全な市場の形成への貢献を目指す

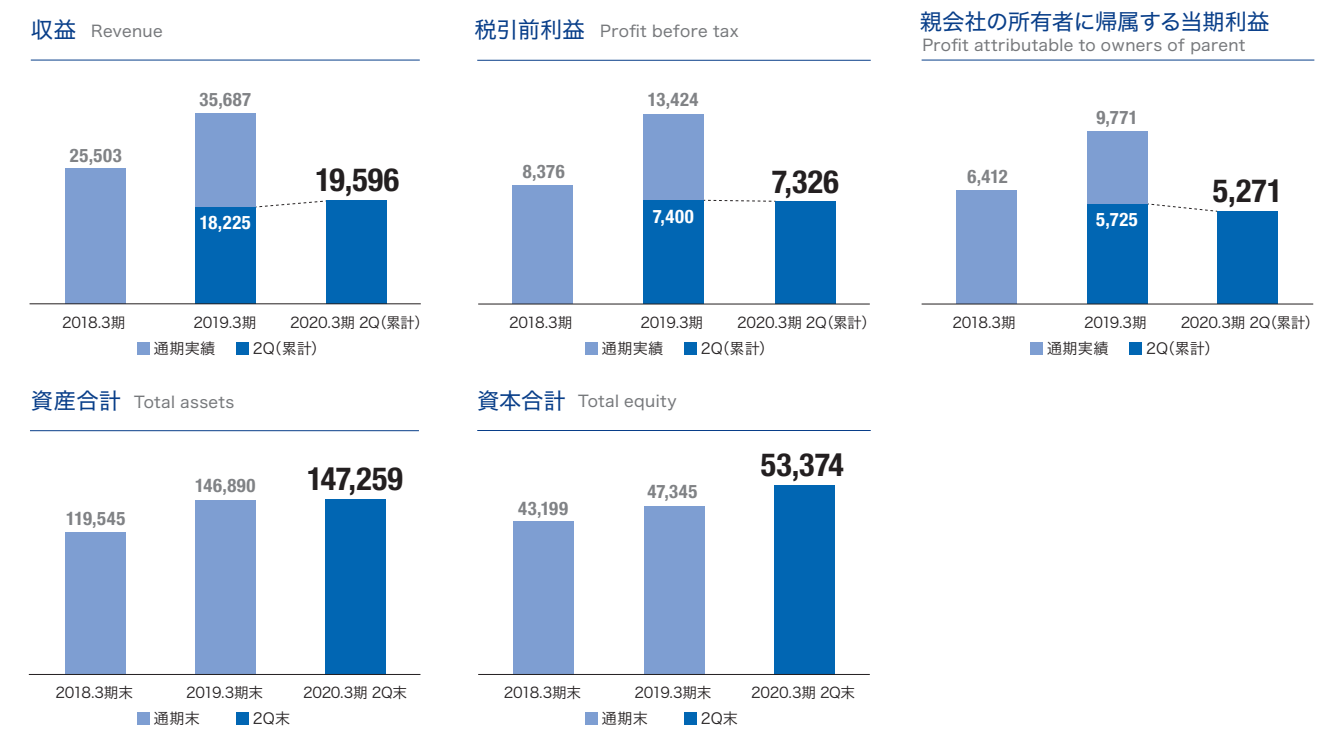
CRYPTO GARAGE
×

設立: 2018年 本社: ロンドン  
 事業内容: 暗号資産領域における最先端の金融サービスの提供

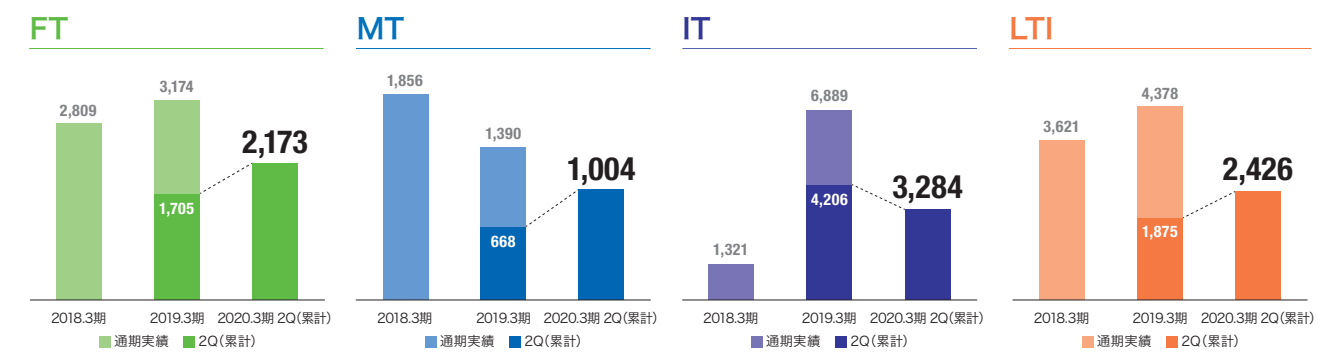
**P2P 金融決済基盤として事業拡大**

## ◆ 業績の推移 [IFRS] Financial Results

連結業績 Consolidated Performance (単位: 百万円 / JPY in Millions)



セグメント別税引前利益 Profit before tax by segments (単位: 百万円 / JPY in Millions)



\*2020.3期2Q(累計)よりナビプラス(株)が行う事業をMTからFTへセグメント変更をしております。2019.3期2Q(累計)と2020.3期2Q(累計)の数値は、本セグメント変更後の区分に基づき、作成しております。

## ❖ 連結財政状態計算書(要約) Consolidated statement of financial position

(単位:百万円 / JPY in Millions)		2019.3期末	2020.3期2Q末	前期末比	主な変動要因/備考
<b>流動資産</b>	<b>Current assets</b>	<b>99,186</b>	<b>92,990</b>	<b>-6,196</b>	
現金及び現金同等物	Cash and cash equivalents	48,154	36,665	-11,489	新規投資、FT事業関連科目、法人税と配当金の支払い等
営業債権及びその他の債権	Trade and other receivables	23,254	21,924	-1,330	FT事業関連科目他
営業投資有価証券	Operational investment securities	26,695	33,114	+6,419	<u>新規投資及び投資先企業の公正価値評価額の増加</u>
<b>非流動資産</b>	<b>Non-current assets</b>	<b>47,704</b>	<b>54,269</b>	<b>+6,565</b>	
のれん	Goodwill	6,575	7,689	+1,114	新規取得
持分法で会計処理されている投資	Investments accounted for using equity method	19,139	20,584	+1,445	持分法投資利益の取込
その他の金融資産	Other financial assets	6,662	10,161	+3,499	<u>新規投資及び上場株式の時価評価</u>
<b>資産合計</b>	<b>Total assets</b>	<b>146,890</b>	<b>147,259</b>	<b>+369</b>	
<b>流動負債</b>	<b>Current liabilities</b>	<b>52,420</b>	<b>45,981</b>	<b>-6,439</b>	
借入金	Borrowings	2,211	3,140	+930	
営業債務及びその他の債務	Trade and other payables	45,799	38,679	-7,119	FT事業関連科目他
<b>非流動負債</b>	<b>Non-current liabilities</b>	<b>47,125</b>	<b>47,904</b>	<b>+779</b>	
社債及び借入金	Bonds and borrowings	35,959	34,469	-1,490	
繰延税金負債	Deferred tax liabilities	4,744	6,859	+2,115	<u>有価証券の評価益に係る税金見積り額</u>
<b>負債合計</b>	<b>Total liabilities</b>	<b>99,545</b>	<b>93,885</b>	<b>-5,659</b>	
<b>資本合計</b>	<b>Total equity</b>	<b>47,345</b>	<b>53,374</b>	<b>+6,029</b>	
親会社の所有者に帰属する持分	Total equity attributable to owners of parent	46,609	52,634	+6,025	
資本金	Share capital	7,504	7,547	+43	
資本剰余金	Capital surplus	4,235	4,431	+196	
自己株式	Treasury shares	-5,026	-5,012	+14	
その他の資本の構成要素	Other components of equity	1,303	3,090	+1,787	<u>投資先企業の公正価値評価額の増加(その他の包括利益)</u>
利益剰余金	Retained earnings	38,593	42,578	+3,985	当期利益の取込
非支配持分	Non-controlling interests	736	740	+4	
<b>負債及び資本合計</b>	<b>Total liabilities and equity</b>	<b>146,890</b>	<b>147,259</b>	<b>+369</b>	

## ❖ 会社情報

### 会社概要

(2019年9月30日現在)

商号 株式会社デジタルガレージ 従業員(単体) 451名  
 設立 1995年8月17日 (連結) 928名

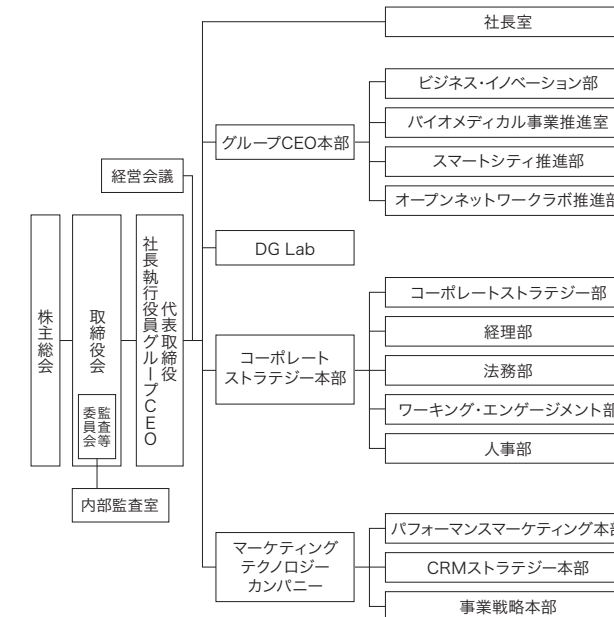
### 役員

(2019年9月30日現在)

代表取締役 林 郁 社外取締役 藤原 謙次  
 取締役 曾田 誠 社外取締役 大村 恵実  
 取締役 踊 契三 取締役(監査等委員長) 六彌太 恭行  
 取締役 田中 将志 社外取締役(監査等委員) 坂井 眞  
 取締役 大熊 将人 社外取締役(監査等委員) 井上 準二  
 取締役 伊藤 穰一 社外取締役(監査等委員) 牧野 宏司

### 組織図

(2019年9月30日現在)



### 株式情報

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数: 120,000,000株 議決権総数: 459,771個  
 発行済株式総数: 47,373,800株 株主総数: 7,893名

### 大株主

(2019年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
林 郁	6,817,700	14.83%
(株)電通	3,300,000	7.18%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,042,100	6.62%
TIS(株)	2,364,500	5.14%
ジェービー・モルガン・バンク・ルクセンブルグ・エスエイ 385576	1,644,900	3.58%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,549,000	3.37%
ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 140051	1,251,600	2.72%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	1,078,900	2.35%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	727,400	1.58%
(株)クレディセゾン	655,200	1.42%

\*持株比率は自己株式(1,390,316株)を控除して計算しております。

### 株式分布状況

(2019年9月30日現在)

#### 株式数

